



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 株式会社デジタルメディアプロフェッショナル 上場取引所 東
コード番号 3652 URL https://www.dmprof.com
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (兼) 社長CEO (氏名) 山本 達夫
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 企画管理管 (氏名) 大澤 剛 TEL 03 (6454) 0450
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,442	55.8	134	-	140	-	121	-
2023年3月期第2四半期	925	34.0	△102	-	△94	-	△95	-

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 121百万円 (-%) 2023年3月期第2四半期 △90百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	38.48	-
2023年3月期第2四半期	△30.33	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,691	3,245	87.9
2023年3月期	3,842	3,124	81.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 3,245百万円 2023年3月期 3,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,950	27.0	240	786.9	240	732.9	200	786.2	63.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	3,152,400株	2023年3月期	3,152,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	7,240株	2023年3月期	7,166株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	3,145,209株	2023年3月期2Q	3,147,278株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8
3. その他	9
(1) 継続企業の前提に関する重要事象等	9
(2) 最近における四半期毎の業績の推移	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2023年5月8日の新型コロナウイルス感染症の2類相当から5類への分類移行もあり、社会経済活動の活性化により、景気は緩やかに回復しました。しかし、円安の継続、物価やエネルギーコストの高騰等が経済、国民生活に与える影響が顕在化しています。また、世界の景気も総じて持ち直しの動きが見られましたが、金融引き締めによる影響に加え、中国経済の先行き懸念、足元の地政学的リスクの増大など下振れリスクに留意が必要です。

当社グループの属する半導体業界では、短期的には車載向けと産業機器向けは好調、民生電子機器向けは景気後退を受けた需要減と二極化する中で、特にメモリー需要減に伴うマイナス成長が予測されているものの、中期的には、あらゆるモノがインターネットにつながるIoTや人工知能(AI)、ビッグデータ、次世代高速通信規格、自動運転向けの需要拡大が見込まれます。

当社グループの事業領域であるAI/ビジュアル・コンピューティング分野においては、少子高齢化に伴う労働人口の減少、気候変動等の社会・環境課題の解決や安全安心社会の実現に向けたイノベーションの加速やAIの果たす役割の増大が予想されます。

このような環境下において、当社グループは、「Making the Image Intelligent」というパーパスのもと、当社の創業来の強みである画像インテリジェンス(画像の知能化)の力で現実世界の問題を解決し、ステークホルダーに価値をもたらす革新的な製品とサービスを創造することに取り組んでいます。注力分野であるセーフティ分野及びロボティクス分野において、企画から量産までの顧客製品・サービスの開発ライフサイクル全体に亘り、アルゴリズム、ソフトウェアから、当社の強みであるハードウェアまでの一貫開発体制をもって、IPコアライセンス事業、製品事業、プロフェッショナルサービス事業を展開し、付加価値を提供することで、LTV(顧客生涯価値)の最大化を図っています。

当第2四半期連結会計期間の注力分野における具体的な取り組みと成果としては、まずセーフティ分野において、安全運転支援向けとして、既存顧客向けにプロフェッショナルサービスを提供するとともに、エッジからクラウドに亘る既存プロジェクトからのリカーリング収益を獲得しました。また、ザインエレクトロニクス株式会社とエッジAIカメラソリューションの実現に向けた協業を開始しました。同社のエッジAIソリューションであるEdgeAI-Link™と当社の高精度画像認識AIソフトウェアの組合せにより、優れたシーン識別力を通じて、次世代スマートBEMS(ビル・エネルギー管理システム)、オフィス・設備監視やインフラ点検の省力化・省人化、工場等産業工程のDX化等に貢献することを目的としています。

ロボティクス分野においては、既存顧客向けにプロフェッショナルサービスを遂行するとともに、デモ機開発による自律走行ロボット向けの新規ライセンス獲得活動を推進し、実績が上がっています。また、資本業務提携先のCambrian社のピッキングロボット向けビジョンシステムのビジネスについては、透明パーツ、光沢パーツの認識精度や外乱光等の環境変化へのロバスト性の強みを生かし、自動車産業を中心とした製造業等の最終顧客の省人化や生産性向上に向けた製品納入、高確度商談が好調に進展するとともに、三品産業向けの商談も活発化しています。

アミューズメント分野においては、稼働が好調なスマートパチスロを含むパチスロやパチンコ向けに画像処理半導体「RS1」の量産出荷を継続するとともに、引き続きこのユニークな2D・3D統合チップの優位性を発揮できる市場セグメントにおけるシェア拡大を目指しています。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、製品事業において画像処理半導体「RS1」の量産出荷を継続するとともに、Cambrianビジョンシステム等を出荷しました。IPコアライセンス事業においては、AI/GPUランニングロイヤリティ収入、セーフティ分野およびロボティクス分野におけるリカーリング収益、メンテナンスサポート収入等を計上しました。また、プロフェッショナルサービス事業においては、AI/GPU受託開発サービスを提供しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,442百万円(前年同期比55.8%増)、営業利益は134百万円(前年同期営業損失102百万円)、経常利益は140百万円(前年同期経常損失94百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は121百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失95百万円)となりました。

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしていませんが、事業別業績の概要は以下のとおりです。

①IPコアライセンス事業

デジタルスチルカメラ、4Kテレビ、OA機器等のデジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ収入に加え、セーフティ分野およびロボティクス分野におけるリカーリング収益、メンテナンスサポート収入等の計上により、売上高は94百万円(前年同期67百万円)となりました。

②製品事業

「RS1」の好調な量産出荷に加えて、Cambrianビジョンシステム等の売上の計上により、売上高は1,301百万円（前年同期798百万円）となりました。

③プロフェッショナルサービス事業

セーフティ分野、ロボティクス分野におけるAI受託開発サービスおよびその他分野におけるGPU受託開発サービスの提供により、売上高は46百万円（前年同期59百万円）となりました。

また、分野別業績の概要は以下のとおりです。

①セーフティ分野

IPコアライセンス事業におけるリカーリング収益およびメンテナンスサポート収入の計上ならびにプロフェッショナルサービスの提供により、売上高は34百万円（前年同期49百万円）となりました。

②ロボティクス分野

主に、製品事業におけるCambrianビジョンシステムの売上計上およびプロフェッショナルサービスの提供により、売上高は69百万円（前年同期31百万円）となりました。

③アミューズメント分野

主に、「RS1」の量産出荷売上の計上により、売上高は1,257百万円（前年同期789百万円）となりました。

④その他分野

主に、IPコアライセンス事業におけるデジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ収入およびメンテナンスサポート収入の計上により、売上高は80百万円（前年同期55百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,347百万円となり、前連結会計年度末に比べ336百万円減少しました。これは主に、売掛金及び契約資産が429百万円減少および現金及び預金が108百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産は344百万円となり、前連結会計年度末に比べ186百万円増加しました。これは主に、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が199百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債および固定負債は合計で446百万円となり、前連結会計年度末に比べ271百万円減少しました。これは主に、買掛金が291百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,245百万円となり、前連結会計年度末に比べ121百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が121百万円増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は87.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は2,544百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは320百万円の収入となりました。主な増加要因は、売上債権及び契約資産の減少額429百万円および税金等調整前四半期純利益140百万円であり、主な減少要因は、仕入債務の減少額291百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは218百万円の支出となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出202百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは0百万円の支出となりました。主な要因は、自己株式の取得による支出0百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、2023年5月12日付「2023年3月期 決算短信」において公表いたしました連結業績予想を修正しております。修正の内容ならびに修正の理由につきましては、本日別途公表しております「業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,435,996	2,544,459
売掛金及び契約資産	833,518	403,707
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	22,874	37,187
仕掛品	408	—
原材料及び貯蔵品	42,583	26,736
その他	48,427	34,947
流動資産合計	3,683,809	3,347,038
固定資産		
有形固定資産	65,837	57,018
無形固定資産	24,119	16,801
投資その他の資産	68,342	270,606
固定資産合計	158,299	344,426
資産合計	3,842,109	3,691,464
負債の部		
流動負債		
買掛金	553,241	262,234
未払法人税等	23,737	33,052
製品保証引当金	17,351	11,533
その他	105,702	121,357
流動負債合計	700,031	428,176
固定負債		
資産除去債務	17,926	18,058
固定負債合計	17,926	18,058
負債合計	717,957	446,234
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,838,882	1,838,882
資本剰余金	1,858,093	1,858,093
利益剰余金	△575,090	△454,064
自己株式	△1,724	△2,016
株主資本合計	3,120,161	3,240,895
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	645	1,576
為替換算調整勘定	3,344	2,757
その他の包括利益累計額合計	3,990	4,334
純資産合計	3,124,151	3,245,229
負債純資産合計	3,842,109	3,691,464

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	925,354	1,442,096
売上原価	616,076	843,278
売上総利益	309,278	598,817
販売費及び一般管理費	412,119	464,031
営業利益又は営業損失(△)	△102,840	134,786
営業外収益		
受取利息	786	172
為替差益	8,305	5,213
営業外収益合計	9,092	5,385
営業外費用		
有価証券償還損	548	—
雑損失	9	1
営業外費用合計	557	1
経常利益又は経常損失(△)	△94,306	140,170
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△94,306	140,170
法人税、住民税及び事業税	1,145	19,145
法人税等合計	1,145	19,145
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△95,451	121,025
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△95,451	121,025

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△95,451	121,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,631	930
為替換算調整勘定	3,167	△586
その他の包括利益合計	4,798	343
四半期包括利益	△90,652	121,369
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△90,652	121,369
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△94,306	140,170
減価償却費	34,655	19,791
株式報酬費用	11,945	6,504
製品保証引当金の増減額(△は減少)	4,179	△5,818
受取利息	△786	△172
為替差損益(△は益)	△10,483	△7,031
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△198,035	429,811
棚卸資産の増減額(△は増加)	△46,208	1,942
仕入債務の増減額(△は減少)	122,391	△291,006
未払金の増減額(△は減少)	3,077	28,568
その他	△24,926	7,283
小計	△198,497	330,043
利息の受取額	1,039	126
法人税等の支払額	△2,156	△10,114
営業活動によるキャッシュ・フロー	△199,615	320,055
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△300,000	△300,000
有価証券の償還による収入	300,000	300,000
投資有価証券の取得による支出	—	△202,122
投資有価証券の償還による収入	200,711	—
有形固定資産の取得による支出	△4,871	△14,970
無形固定資産の取得による支出	△580	△1,240
その他	△307	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	194,952	△218,332
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△291
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△291
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,483	7,031
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,820	108,463
現金及び現金同等物の期首残高	2,002,540	2,435,996
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,008,361	2,544,459

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業は、IPコア等の開発・製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(追加出資)

当社は、2023年11月13日開催の取締役会において、下記のとおり、米国デラウェア州の Cambrian Inc. (以下、Cambrian社という)へ追加出資を行うことを決議いたしました。

(1) 追加出資の理由

当社は、Cambrian社と独占販売代理店契約(2021年4月29日)および業務提携契約(2021年5月3日)を締結したうえで、2021年6月に同社のシリーズシード優先株式(払込金額37万米ドル)を取得しております。

今般、Cambrian社がシリーズシードプラスの優先株式を発行するにあたり、資金面から同社の開発力の向上、製品・技術の競争力強化に寄与し、同社との戦略的提携関係を更に強化することを目的に、その優先株式の一部を追加取得することとしました。

(2) 新たに追加取得する相手方の株式の取得価額等

当社は、Cambrian社が発行するシリーズシードプラスの優先株式の一部を以下のとおり取得することとしました。取得価格は同社の事業計画等を考慮のうえ、算定、決定しております。

払込金額：48万米ドル

取得予定日：2023年11月末

3. その他

(1) 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

(2) 最近における四半期毎の業績の推移
2024年3月期

(単位：千円)

	第1四半期 2023年4月～ 2023年6月	第2四半期 2023年7月～ 2023年9月	第3四半期 2023年10月～ 2023年12月	第4四半期 2024年1月～ 2024年3月
売上高	699,165	742,931	—	—
売上総利益	256,344	342,473	—	—
営業利益	30,196	104,590	—	—
経常利益	32,833	107,336	—	—
税金等調整前四半期純利益	32,833	107,336	—	—
四半期純利益	26,411	94,614	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,411	94,614	—	—
四半期包括利益	26,658	94,710	—	—
1株当たり四半期純利益	8.40円	30.08	—	—
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	3,684,722	3,691,464	—	—
純資産	3,150,810	3,245,229	—	—
1株当たり純資産	1,001.77円	1,031.82	—	—

2023年3月期

(単位：千円)

	第1四半期 2022年4月～ 2022年6月	第2四半期 2022年7月～ 2022年9月	第3四半期 2022年10月～ 2022年12月	第4四半期 2023年1月～ 2023年3月
売上高	387,671	537,683	654,471	742,286
売上総利益	119,257	190,020	258,820	292,576
営業利益又は営業損失(△)	△89,267	△13,573	41,887	88,012
経常利益又は経常損失(△)	△83,735	△10,570	35,813	87,307
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△83,735	△10,570	35,813	87,307
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△84,308	△11,143	35,240	82,780
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△84,308	△11,143	35,240	82,780
四半期包括利益	△79,661	△10,990	35,057	84,372
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失(△)	△26.79円	△3.54円	11.20円	26.32円
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	3,463,998	3,485,580	3,557,274	3,842,109
純資産	3,015,821	3,004,830	3,039,888	3,124,151
1株当たり純資産	958.23円	954.74円	965.88円	993.30円